

令和7年度
第1回湧別町総合教育会議議案

日 時 令和8年1月16日（金）

午後4時00分

場 所 湧別町文化センターさざ波
多目的ホール

湧別町総合教育会議

会 議 次 第

1 開 会

2 町長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 協 議

(1) 協議第1号 湧別町教育委員会の取組（学力向上、いじめ・不登校対策、
部活動地域展開）について

(2) その他

5 閉 会

協議第1号

湧別町教育委員会の取組（学力向上、いじめ・不登校対策、部活動地域展開）について

湧別町教育委員会の取組（学力向上、いじめ・不登校対策、部活動地域展開）について、次のように協議するものとする。

記

別紙のとおり

令和8年1月16日提出

湧別町長 加藤 政 弘

学力向上の取組について

1 今年度の全国学力・学習状況調査結果

- ・令和7年度は国語、算数(数学)、理科の調査が行われた。
- ・前期課程では、全ての教科で全国平均を上回った。
- ・後期課程では、国語・数学で全国平均を下回ったが、理科は全国平均を上回った。
- ・過去10年間の平均正答率の推移を全国平均と比較すると、前期課程では上昇傾向が見られるが、後期課程では全国と差のある状態が続いている。
- ・湧別町型学校力向上事業、湧別町型「学び合いのある学び」研修事業(北海道大学大学院との連携事業)の取組開始以降、調査結果や非認知能力の育成状況に改善傾向が見られる。

2 湧別町型学校力向上事業（「湧別町学校力向上プラン」に基づく事業）

(1) 「学び合いのある学び」を通しての学校づくり

令和7年度 取組の重点

① 全校共通 「これだけは」

ア 一人残らず全ての子どもの学ぶ権利を保障する

- ・全ての子どもが学びに向かっている授業
- ・子ども同士で学び合う授業

イ どの子どもも安心して学ぶ環境をつくる

- ・「わからない」と言える授業
- ・互いに聴き合い、ケアし合う関係づくり

ウ 子どもの学びを見取る

- ・教師は、子どもがどのように学んでいるかを仔細に見取る

② 各校の実態に応じて「できれば」

ア 「教師の教え方」ではなく「子どもの学び」を語り合う授業研究

イ 教科の本質に迫る課題(ジャンプ課題)

ウ ペアやグループ等、協同的な学びを中心に据えた授業展開

③ 自校の特色を生かして(例)

ア 学びの山(単元計画)を意識した授業展開

イ 学習場面に応じた iPad の活用 等

(2) 情報活用能力の向上

① 巡回指導員による訪問指導

- ・湧別町ICT教育推進委員会の代表が学校訪問に同行し、指導助言を行う。

② ICT活用事例の共有

- ・学校力向上プラン 学習場面に応じたICT活用事例の紹介
- ・湧別町ICT教育推進委員会 校務への活用事例を交流

(3) 令和7年度の事業

| 月 | 具体的取組 |
|-----|--|
| 4 | ・学校力向上プランの周知 |
| 5 | ・教育アドバイザー学校訪問(学び合いのある学び①) ・ICT教育推進委員会① |
| 6 | ・教育アドバイザー学校訪問(学び合いのある学び②) |
| 7 | ・教育アドバイザー学校訪問(ICTの活用①) ・全国学力・学習状況調査分析 |
| 8 | |
| 9 | ・教育アドバイザー学校訪問(学び合いのある学び③) |
| 10 | ・教育アドバイザー学校訪問(学び合いのある学び④) |
| 11 | ・教育アドバイザー学校訪問(学び合いのある学び⑤) |
| 12 | ・教育アドバイザー学校訪問(ICTの活用②) ・ICT教育推進委員会② |
| 1 | ・令和7年度の取組についての検証 |
| 2 | ・教育アドバイザー学校訪問(学び合いのある学び⑥) ・令和8年度全国学力・学習状況調査に向けた取組 |
| 3 | |
| その他 | ・学校教育指導(オホーツク教育局学校教育指導班) ・学校経営指導(オホーツク教育局学校教育指導監) |

3 湧別町型「学び合いのある学び」研修事業

(旧 北海道大学大学院教育学研究院との連携による授業改善事業)

- (1) 実践校 上湧別学園
- (2) 協力校 ゆうべつ学園、芭露学園
- (3) 講師 守屋 淳 名誉教授(北大大学院)
- (4) 授業参観日程

第1回 令和7年 5月30日(金) 上湧別学園

第2回 令和7年10月 1日(水) 上湧別学園 ※兼 全町学力向上事業

講師 東京大学 佐藤 学 名誉教授

第3回 令和7年 2月12日(木) ゆうべつ学園

令和7年 2月13日(金) 上湧別学園

部活動の地域展開(地域移行)について～湧別町の取り組み～

1. 背景

少子化や学校における教員の働き方改革を背景に、子ども達が将来にわたってスポーツや文化に継続して親しむ機会を確保するため、国ではこれまで学校教育の一環として行われてきた「学校部活動」を「地域クラブ活動」へ移行していく

ことが必要であるとし、具体的には令和5年度から令和7年度末までの3年間を改革推進期間と位置付け、地域の実情に応じた地域展開（地域移行）を推進しています。

このため、令和5年度に本町の実態に即した部活動の在り方を検討するための検討委員会を設立し、部活動の地域展開（地域移行）について必要な協議を進めています。

※「地域移行」から「地域展開」へ

⇒学校の部活動改革の理念を「学校から地域へ分断」から「学校と地域が一体となって豊かに広げる」へと進化させるための名称変更で、単なる場所の移動ではなく、学校資源（施設・指導者）も活用し、地域全体で生徒のスポーツ・文化活動を支え、より多様な質の高い活動を実現しようとする、より発展的で包括的な考え方を示しています。

2. 町内の部活動の活動状況について

| 部活名 | 部員数(7・8年生) | | | その他 |
|----------|------------|-------|-----|---------------------------|
| | 上湧別 | ゆうべつ | 芭露 | |
| 野球部 | 3名 | 7名 | 1名 | 上湧別・ゆうべつ・芭露・佐呂間中と合同チーム |
| バスケ部 | 男子 | 2名 | 7名 | 上湧別・ゆうべつと合同チーム |
| | 女子 | 2名 | 2名 | 上湧別・ゆうべつ・佐呂間中・紋別潮見中と合同チーム |
| バレー部(女子) | 6名 | 1名 | | 上湧別・ゆうべつ・佐呂間中と合同チーム |
| ソフトテニス部 | 14名 | | | |
| バドミントン部 | | | 4名 | |
| サッカー部 | | | | |
| 吹奏楽部 | 13名 | 7名 | | 上湧別・ゆうべつと合同編成 |
| 文化部 | | | 1名 | |
| 合計 | 40名 | 24名 | 6名 | |
| 部活動の加入率 | 70.2% | 57.1% | 75% | |

3. 湧別町部活動地域移行検討委員会の設置について

湧別町教育委員会では、令和5年10月に「湧別町部活動地域移行検討委員会」を設置し、各学校、スポーツ団体関係、文化団体関係、PTAの方々の意見をいただきながら、地域展開（地域移行）に向けた課題等について協議を行っております。

※別紙委員名簿参照

4. 湧別町におけるこれまでの取り組み

令和5年度

| 期 日 | 会 議 等 | 主な協議内容等 |
|--------|----------------------------|--|
| 11月30日 | 第1回部活動地域移行検討委員会 | <ul style="list-style-type: none"> 湧別町における部活動地域移行の取組方針について 地域移行に向けた課題とその対策について |
| 2月13日 | 講演会「『部活動改革』笑顔あふれるまちづくり」の開催 | 講師～NPO 法人幕別札内スポーツクラブ コーディネーター 小田新紀 氏 |
| | 第2回部活動地域移行検討委員会 | <ul style="list-style-type: none"> 湧別町における部活動地域移行の取組方針について 地域移行に向けた課題とその対策について |

令和6年度

| 期 日 | 会 議 等 | 主な協議内容等 |
|------------------|--|--|
| 5月28日 | 第1回部活動地域移行検討委員会 | <ul style="list-style-type: none"> アンケート調査の実施内容について 部活動関係者との協議について |
| 6月10日 ～7月19日 | アンケート調査の実施 | 対象者～児童・生徒及び保護者 教職員及びスポーツ・文化団体 |
| 11月14日 ～3月10日 | 学校部活動関係者との懇談会 ※吹奏楽部、ソフトテニス部、野球部、 バスケ部、バレー部、サッカー部 | <ul style="list-style-type: none"> 学校部活動及び少年団等の活動状況について 活動する上での課題、問題点について 部活動地域移行の可能性について |
| 12月25日 | 第2回部活動地域移行検討委員会 | <ul style="list-style-type: none"> アンケート調査及び部活動関係者との懇談会の結果について 今後の方針について |

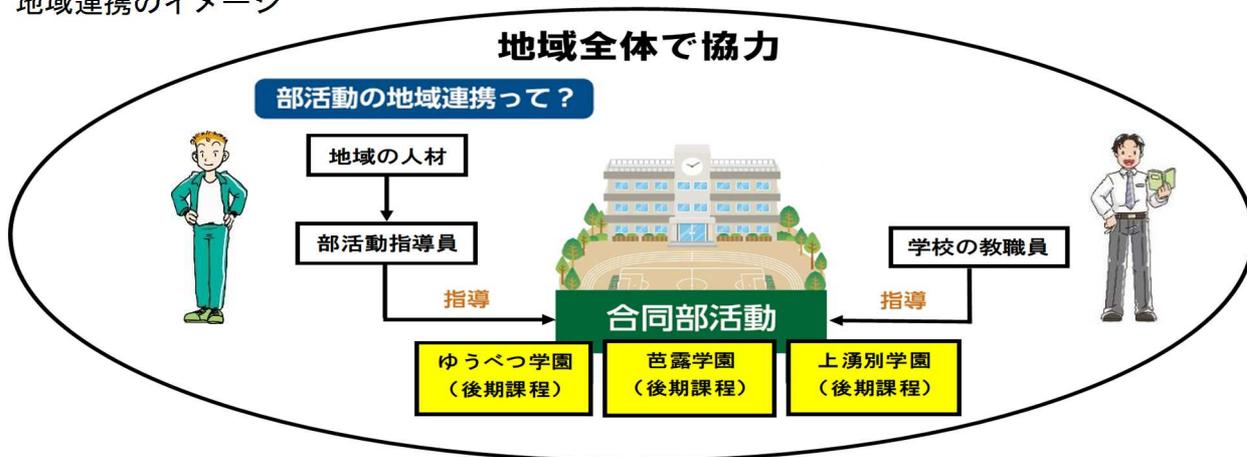
令和7年度

| 期 日 | 会 議 等 | 主な協議内容 |
|------------------|--|--|
| 5月26日～ | 学校部活動サポーター（仮称）の募集 開始 | 町内外から15名の申込み |
| 11月5日 | 第1回部活動地域移行検討委員会 | <ul style="list-style-type: none"> 学校部活動サポーターの申し込み状況について 部活動指導員の身分、補償、報酬等について 今後のスケジュールについて |
| 11月17日 ～12月1日 | 学校部活動関係者との懇談会 ※吹奏楽部、ソフトテニス部、野球部、 バスケ部、バレー部 | <ul style="list-style-type: none"> 学校部活動サポーターの申し込み状況について 今後の方向性について |

5. 今後の方針(進め方)について

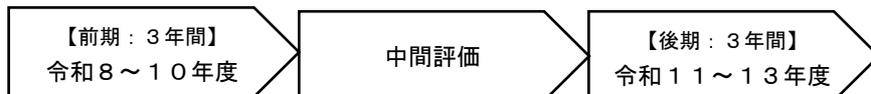
令和7年度末までに、学校部活動の地域連携として、休日の部活動は部活動指導員が指導する体制の整備を目指す(令和6年12月25日決定)

地域連携のイメージ



※部活動指導員…部活動の技術指導や学校外での活動(大会の練習試合など)の引率など、義務教育学校(後期課程)の部活動に携わる人材を指します。

6. 今後の方向性(国の動向)について



計画期間中に、原則、休日の全ての学校部活動の地域展開実現へ

- ◆ 現時点で未着手の市町村も、前期の間に確実に休日の地域展開等に着手
- ◆ 市町村が実現可能な活動の在り方や課題への対応策を中間評価で検証
- ◆ 改めて取組方針を定め、後期において平日を含む更なる改革を推進
- ◆ 中山間地域や離島など、困難を伴う地域に対してきめ細かなサポートを通じて推進

湧別町部活動地域移行検討委員会委員

(◎委員長 ○副委員長)

任期：令和5年10月26日～令和8年3月31日

| No | 区分 | 氏名 | 役職等 |
|----|------------------------|---------|----------------------------------|
| 1 | 1号委員 (学校教育関係者) | 若松 征一 | ゆうべつ学園校長 |
| 2 | | 早川 大介 | 上湧別学園校長 |
| 3 | | 川上 智広 | 芭露学園校長 |
| 4 | | 今野 博友 | 湧別高等学校校長 |
| 5 | | 豊原 隆之 | ゆうべつ学園教頭 |
| 6 | | 豊田 修司 | 上湧別学園教諭 |
| 7 | | 藤井 陽平 | 芭露学園教諭 |
| 8 | 2号委員 (スポーツ・文化活動関係者) | ◎黒川 隆 | 体育協会会長 |
| 9 | | 下田 英人 | スポーツ少年団本部長 |
| 10 | | 牧村 宣幸 | スポーツ少年団事務局長 |
| 11 | | 畠山 智光 | 野球少年団指導者 (湧別マリナーズ) |
| 12 | | 兼田 真一 | サッカー少年団指導者 (FC Miragross Jr.) |
| 13 | | 石川 克己 | スポーツ推進委員長 |
| 14 | | 片岡 幸生 | 文化連盟理事 上湧別吹奏楽団代表 |
| 15 | 3号委員 (有識者) | ○工藤 雄希峰 | 社会教育委員 |
| 16 | | 遠藤 道代 | 前ゆうべつ学園PTA会長 |
| 17 | | 黒田 まどか | 上湧別学園PTA役員 |